

救急認定看護師の特定ケアとその活動報告

東京北医療センター クリティカルケア認定看護師 大熊尚人

東京北医療センターについて

こんにちは、皆さん。私は東京北医療センターで勤務している、NDC 8 期生の大熊尚人です。東京北医療センターは東京都の北区に位置し、埼玉県と隣接した医療圏になります。最寄り駅は赤羽駅になります。赤羽駅周辺にも「千べろ」と呼ばれるような居酒屋や飲み屋が多数存在します。赤羽は、リーズナブルな飲食店が集まるエリアで、飲み歩きや食べ歩きに適した場所として知られています。駅近くやその周辺には、1,000円で楽しめる飲み放題や食べ放題の店が多く、特に仕事帰りのサラリーマンや学生に人気の場所です。また、東京都北区には、多くの団地が存在し、その中には高齢者が多く住んでいるエリアもあります。

東京北医療センターはそんなエリアの医療を支える地域中核病院になります。

救急認定看護師の特定行為

私はNDCになるまで、救急認定看護師として、10年間活動してまいりました。救急認定看護師は急性期の患者さんに対して専門的な看護を提供し、緊急時の対応において重要な役割を果たしています。日本看護協会は2015年に特定行為の付加研修を開始しており、認定看護師教育も現行の教育と、特定行為付加研修を組み込んだ新たな制度が行われています（現行の教育研修は2026年度で終了予定）。私が救急認定看護師の研修を行ったときは、特定行為研修が組み込まれていなかったため、特定行為研修を行うこ

とは新たな制度に移行するため、必要な研修と感じていました（看護協会は特定行為研修を行うことを必須とはしておらず、現行の救急認定看護師として活動することも認めています）。特定行為研修の希望を、看護師長、看護部長に相談した際に、JADECOMで行われている、NDC研修に参加することを勧められました。

日本における特定看護師の必要性

現在、日本では多くの医療課題に対応するために、特定看護師の必要性がますます重要になっています。

1つ目に医療ニーズの多様化と複雑化があげられます。日本の医療は高齢化社会の進行に伴い、慢性疾患や複雑な病態を抱える患者が増加しています。特定看護師は、がん治療や糖尿病管理、心不全などの特定分野において高度な知識と技術を持ち、専門的なケアを提供できます。これにより、患者の状態に応じた適切な治療が可能となり、医療の質が向上します。

2つ目に医師不足と過重労働の解消があります。日本では、医師の労働負担が大きく、特に地方や過疎地では医師の不足が深刻です。特定看護師が専門的なケアを担当することで、医師の負担を軽減し、より複雑な症例に集中できるようになります。これにより、医療現場の効率化が図られ、医師不足の解消に寄与します。

3つ目に継続的なケアの提供があります。慢性疾患や長期にわたる治療を必要とする患者には、継続的なケアが不可欠です。特定看護師は、患者の状態を長期間にわたってモニタリン



急変時対応のカンファレンスの風景

グし、必要な治療や指導を提供することで、病状の管理や改善に貢献します。これにより、患者の生活の質が向上し、入院や急変のリスクが低減します。

4つ目に医療のアクセス向上が考えられます。地方や過疎地では、医療施設へのアクセスが限られている場合があります。特定看護師が地域医療の一環として活動することで、これらの地域での医療サービスの質とアクセスが改善されます。特に、訪問看護や地域密着型のケアが求められる場面で、特定看護師の役割は重要です。

5つ目は医療チームの強化と協働です。医療は多職種協働によって成り立っています。特定看護師は医師や他の医療スタッフと連携し、チーム医療を推進します。専門的な知識を持つ特定看護師がチームに加わることで、診療の質が向上し、患者中心のケアが実現します。また、学んだことを看護師にフィードバックすることで、看護師の質の向上も考えられます。

このように、特定看護師の役割は日本の医療システムにおいて不可欠であり、医療サービスの質の向上、効率化、アクセスの改善に貢献します。特定看護師の導入と活用が進むことで、より良い医療環境が整備されることが期待されています。

救急認定看護師の取り組みとチームワーク

救急認定看護師は、単独での対応だけでなく、医師や他の医療スタッフとのチームワークが重要です。特に急性期の現場では、迅速な情報共有と連携が不可欠です。私たちは、定期的なチームミーティングやシミュレーショントレーニングを通じて、スムーズな協力体制を築いています。

また、私たちは自己研鑽にも力を入れており、最新の医療技術や治療法についての知識を常にアップデートしています。これにより、より良いケアを提供し、患者さんの状態に応じた最適な対応ができるよう努めています。

まとめ

救急認定看護師としての特定ケアは、患者さんの生命を守るために欠かせない重要な役割を果たしています。心肺蘇生、外傷対応、急性呼吸困難の管理など、さまざまな場面で専門的な知識と技術を駆使し、迅速かつ的確な対応を行っています。チームでの協力や自己研鑽を通じて、より良いケアを提供し続けることが、私たち特定ケア看護を学んだ救急認定看護師の使命です。これからも、患者さんの安全と健康を守るために、全力で取り組んでいきます。